



2022年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月9日
東

上場会社名 K L a b株式会社 上場取引所
 コード番号 3656 URL <https://www.klab.com/jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)森田 英克
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役 (氏名)高田 和幸 (TEL) 03-5771-1100
 定時株主総会開催予定日 2023年3月24日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2023年3月24日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有 (<https://www.klab.com/jp/ir/library/>)
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年12月期の連結業績(2022年1月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期	16,880	△29.4	△598	—	△73	—	△541	—
2021年12月期	23,895	△29.6	△1,105	—	△1,028	—	△3,468	—

(注) 包括利益 2022年12月期 △727百万円(—%) 2021年12月期 △3,474百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年12月期	△13.97	—	△4.2	△0.4	△3.5
2021年12月期	△90.38	—	△23.6	△4.9	△4.6

(参考) 持分法投資損益 2022年12月期 △26百万円 2021年12月期 1百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年12月期	20,859	13,153	62.9	324.42
2021年12月期	18,707	12,806	68.4	336.84

(参考) 自己資本 2022年12月期 13,123百万円 2021年12月期 12,796百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年12月期	△186	△1,356	3,536	6,017
2021年12月期	△1,278	△1,929	△1,044	3,816

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2021年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

2023年12月期の連結業績予想については、非開示といたします。詳細は、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年12月期	41,092,200株	2021年12月期	38,631,100株
② 期末自己株式数	2022年12月期	641,531株	2021年12月期	641,500株
③ 期中平均株式数	2022年12月期	38,784,005株	2021年12月期	38,370,270株

(参考) 個別業績の概要

1. 2022年12月期の個別業績（2022年1月1日～2022年12月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期	16,426	△29.6	△696	—	△388	—	△774	—
2021年12月期	23,339	△30.6	△1,245	—	△1,378	—	△4,233	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2022年12月期	△19.96		—					
2021年12月期	△110.32		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2022年12月期	20,413		12,850		62.8	317.01		
2021年12月期	18,271		12,536		68.6	329.72		

(参考) 自己資本 2022年12月期 12,823百万円 2021年12月期 12,526百万円

- ※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です
- ※ その他特記事項

(決算補足説明資料の入手方法について)

業績の概要につきましては、当社ウェブサイトに掲載しております、決算説明資料をご確認ください。

<https://www.klab.com/jp/ir/library/presentations/>

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

	(千円)		
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度比 増減率
売上高	23,895,272	16,880,927	△29.4
営業利益	△1,105,613	△598,112	—
経常利益	△1,028,304	△73,471	—
税金等調整前 当期純利益	△2,673,471	△422,511	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	△3,468,020	△541,922	—

当連結会計年度の業績は、売上高16,880,927千円（前期比29.4%の減少）、営業損失598,112千円（前期は営業損失1,105,613千円）となりました。

当連結会計年度においては、「BLEACH Brave Souls」が年間を通して好調に推移したほか、「うたの☆プリンスさまっ♪ Shining Live」、「ラブライブ！スクールアイドルフェスティバル」等の長期運営タイトルも堅調に推移しました。

一方で「キャプテン翼 ～たたかえドリームチーム～」が振るわなかったことに加え、業績不振となったタイトルの移管及び撤退により運営タイトル数が減少したことから、売上高は前期比で減少しました。

費用面においては、運営における人員体制及びグループ全体での詳細な費用について継続して見直しを実施し、利益体質への転換を図るべくコストコントロールに努めた結果、営業損失の赤字幅は前期から縮小しました。

また、当連結会計年度においては為替相場が世界的に円安傾向で推移したことから、当社グループが保有する外貨建債権債務の決済及び期末為替レートによる評価替等において為替差益380,044千円を計上し、経常損失は73,471千円（前期は経常損失1,028,304千円）となりました。

また、第2四半期において「ラピスライツ ～この世界のアイドルは魔法が使える～」のソフトウェア資産410,029千円を減損損失として計上しました。

以上の結果、親会社株主に帰属する当期純損失は541,922千円（前期は親会社株主に帰属する当期純損失3,468,020千円）となりました。

当社の主要タイトル等の状況は以下のとおりです。

(BLEACH Brave Souls)

本作の題材である『BLEACH』は、日本だけでなく海外での人気も非常に高い剣戟バトルアクションコミックです。

当連結会計年度においては、10月開始の新作アニメ放送を盛り上げりの中心とした施策を積極的に展開したことにより、国内、海外ともに年間を通じて好調に推移し、売上高は前年を上回って着地しました。

(キャプテン翼 ～たたかえドリームチーム～)

本作の題材である『キャプテン翼』は、1981年のマンガ連載開始以降、国内のみならず世界20言語に翻訳され、幅広い世代のサッカーファンに愛されている大人気作品です。

当連結会計年度においては、世界的なサッカーイベントの開催に合わせた商材の投入やイベント施策を展開したものの、各種商材の売れ行きは伸び悩み、売上高は軟調に推移しました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産・負債及び純資産の状況

(資産の部)

当連結会計年度末における総資産は20,859,788千円となり、前連結会計年度末と比較して2,152,275千円増加いたしました。これは主として、有価証券が936,120千円減少、ソフトウェアが564,070千円減少した一方で、現金及び預金が2,200,490千円増加、ソフトウェア仮勘定が2,578,803千円増加したことによるものです。

(負債の部)

当連結会計年度末における総負債は7,706,230千円となり、前連結会計年度末と比較して1,805,272千円増加いたしました。これは主として、買掛金が601,030千円減少した一方で、短期借入金が1,000,000千円増加、1年内返済予定長期借入金が528,881千円増加、長期借入金が973,531千円増加したことによるものです。

(純資産の部)

当連結会計年度末における純資産は13,153,557千円となり、前連結会計年度末と比較して347,003千円増加いたしました。これは主として、親会社株主に帰属する当期純損失の計上により利益剰余金が493,573千円減少した一方で、第18回新株予約権の権利行使等により資本金及び資本剰余金がそれぞれ500,477千円増加したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ2,200,490千円増加し、6,017,468千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により支出した資金は、186,966千円(前連結会計年度は1,278,629千円の支出)となりました。これは主に、売上債権の減少489,828千円により資金が増加した一方で、税金等調整前当期純損失422,511千円、仕入債務の減少594,497千円により資金が減少したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、1,356,560千円(前連結会計年度は1,929,551千円の支出)となりました。これは主に、有価証券の売却及び償還による収入1,095,000千円により資金が増加した一方で、無形固定資産の取得による支出2,650,064千円により資金が減少したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により獲得した資金は、3,536,052千円(前連結会計年度は1,044,820千円の支出)となりました。これは主に、長期借入れによる収入2,600,000千円により資金が増加したことによるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2018年12月期	2019年12月期	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期
自己資本比率	75.1%	65.3%	70.5%	68.4%	62.9%
時価ベースの自己資本比率	161.1%	130.8%	146.9%	100.7%	83.8%
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	0.00年	1.29年	0.44年	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ	5,617.2倍	270.4倍	893.0倍	—	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. 各指標はいずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

4. 有利子負債は(連結)貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

5. 当連結会計年度のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは、営業キャッシュ・フローがマイナスであるため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

当社グループは引き続き、ゲーム及びゲーム周辺事業を軸とした事業運営を推進していきます。特にゲーム事業においては、既存タイトルの安定運用によるトップラインの維持に加え、グローバルで高い人気と熱量を有するIPを活用したヒットタイトルの創出に努め、中長期での事業成長を目指します。

さらに、今後はブロックチェーン技術を活用した新たなエンターテインメントコンテンツの創出にも取り組み、当社の第2の事業の柱として成長させることで、企業規模のさらなる拡大を目指してまいります。

業績予想につきましては、2023年12月期も非開示といたします。

従前は、新作タイトルのヒット度合い及び既存タイトルの状況により業績が大きく変動することに鑑み、レンジ形式による通期業績予想開示を採用してまいりましたが、近年はゲーム事業を取り巻く環境の変化のスピードが以前にも増して著しく、短期間でもゲームタイトルの動向を精緻に予測することが困難になってきております。

さらに、2023年12月期は、業績への大きな貢献を見込むElectronic Arts Inc.との共同開発タイトルについて期中のリリースを予定しているものの、現時点ではリリース時期を未公表としていることから、合理的かつ信頼性のある業績予想の提示が困難と考えるものです。

なお、今後の進捗を踏まえ、算定が可能になった場合は速やかに開示する方針です。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国際財務報告基準(IFRS)の適用時期につきましては、我が国における適用動向を注視している状況であり、今後の適用については未定であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当連結会計年度 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,816,978	6,017,468
売掛金	2,259,169	1,768,227
有価証券	936,120	—
前払費用	1,141,289	1,343,831
未収還付法人税等	189,013	10,274
その他	1,581,792	1,232,466
貸倒引当金	△28,553	△28,649
流動資産合計	9,895,809	10,343,618
固定資産		
有形固定資産		
建物	261,532	226,652
減価償却累計額	△159,226	△161,392
建物（純額）	102,305	65,259
その他	766,428	743,158
減価償却累計額	△543,438	△592,207
その他（純額）	222,990	150,950
有形固定資産合計	325,296	216,210
無形固定資産		
のれん	822,029	733,161
ソフトウェア	619,691	55,620
ソフトウェア仮勘定	1,444,880	4,023,684
その他	672	672
無形固定資産合計	2,887,274	4,813,138
投資その他の資産		
投資有価証券	3,234,012	2,893,484
繰延税金資産	755,675	837,095
その他	1,621,346	1,756,240
貸倒引当金	△11,901	—
投資その他の資産合計	5,599,131	5,486,820
固定資産合計	8,811,702	10,516,169
資産合計	18,707,512	20,859,788

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当連結会計年度 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,916,692	1,315,661
短期借入金	—	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	541,788	1,070,669
前受金	1,506,190	1,573,756
賞与引当金	132,521	134,106
その他	1,021,722	936,461
流動負債合計	5,118,914	6,030,655
固定負債		
長期借入金	462,044	1,435,575
その他	320,000	240,000
固定負債合計	782,044	1,675,575
負債合計	5,900,958	7,706,230
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,957,479	5,457,956
資本剰余金	4,707,029	5,212,506
利益剰余金	3,322,329	2,828,756
自己株式	△397,362	△397,377
株主資本合計	12,589,476	13,101,841
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	240,027	262,246
為替換算調整勘定	△33,033	△240,894
その他の包括利益累計額合計	206,994	21,351
新株予約権	10,083	30,364
純資産合計	12,806,554	13,153,557
負債純資産合計	18,707,512	20,859,788

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)	当連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)
売上高	23,895,272	16,880,927
売上原価	21,175,399	13,857,997
売上総利益	2,719,873	3,022,929
販売費及び一般管理費	3,825,486	3,621,042
営業損失(△)	△1,105,613	△598,112
営業外収益		
受取利息	2,061	4,445
有価証券利息	28,548	11,367
受取配当金	41,552	53,936
為替差益	—	380,044
その他	140,165	149,517
営業外収益合計	212,328	599,310
営業外費用		
支払利息	3,899	13,969
持分法による投資損失	—	26,427
為替差損	84,088	—
支払手数料	1,563	26,760
その他	45,468	7,511
営業外費用合計	135,019	74,668
経常損失(△)	△1,028,304	△73,471
特別利益		
固定資産売却益	2,048	—
投資有価証券売却益	31,130	201,210
その他	718	7,421
特別利益合計	33,898	208,632
特別損失		
減損損失	1,648,181	438,883
関係会社株式売却損	—	67,943
その他	30,883	50,845
特別損失合計	1,679,064	557,672
税金等調整前当期純損失(△)	△2,673,471	△422,511
法人税、住民税及び事業税	248,307	210,637
法人税等調整額	546,240	△91,226
法人税等合計	794,548	119,411
当期純損失(△)	△3,468,020	△541,922
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△3,468,020	△541,922

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)	当連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)
当期純損失 (△)	△3,468,020	△541,922
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	63,352	24,375
為替換算調整勘定	△66,993	△207,861
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,614	△2,156
その他の包括利益合計	△6,255	△185,642
包括利益	△3,474,275	△727,565
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△3,474,275	△727,565

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,909,815	4,659,365	6,790,349	—	16,359,531
会計方針の変更による累積的影響額					
会計方針の変更を反映した当期首残高	4,909,815	4,659,365	6,790,349		16,359,531
当期変動額					
新株の発行	47,663	47,663			95,326
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△3,468,020		△3,468,020
自己株式の取得				△397,362	△397,362
連結子会社の増資による持分の増減					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	47,663	47,663	△3,468,020	△397,362	△3,770,055
当期末残高	4,957,479	4,707,029	3,322,329	△397,362	12,589,476

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	179,288	33,960	213,249	11,819	16,584,600
会計方針の変更による累積的影響額					
会計方針の変更を反映した当期首残高	179,288	33,960	213,249	11,819	16,584,600
当期変動額					
新株の発行					95,326
親会社株主に帰属する当期純損失(△)					△3,468,020
自己株式の取得					△397,362
連結子会社の増資による持分の増減					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	60,738	△66,993	△6,255	△1,735	△7,990
当期変動額合計	60,738	△66,993	△6,255	△1,735	△3,778,045
当期末残高	240,027	△33,033	206,994	10,083	12,806,554

当連結会計年度(自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,957,479	4,707,029	3,322,329	△397,362	12,589,476
会計方針の変更による累積的影響額			48,349		48,349
会計方針の変更を反映した当期首残高	4,957,479	4,707,029	3,370,678	△397,362	12,637,825
当期変動額					
新株の発行	500,477	500,477			1,000,954
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△541,922		△541,922
自己株式の取得				△15	△15
連結子会社の増資による持分の増減		4,999			4,999
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	500,477	505,477	△541,922	△15	464,015
当期末残高	5,457,956	5,212,506	2,828,756	△397,377	13,101,841

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	240,027	△33,033	206,994	10,083	12,806,554
会計方針の変更による累積的影響額					48,349
会計方針の変更を反映した当期首残高	240,027	△33,033	206,994	10,083	12,854,903
当期変動額					
新株の発行					1,000,954
親会社株主に帰属する当期純損失(△)					△541,922
自己株式の取得					△15
連結子会社の増資による持分の増減					4,999
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	22,219	△207,861	△185,642	20,280	△165,361
当期変動額合計	22,219	△207,861	△185,642	20,280	298,654
当期末残高	262,246	△240,894	21,351	30,364	13,153,557

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)	当連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失 (△)	△2,673,471	△422,511
減価償却費	663,885	286,150
のれん償却額	84,544	88,868
減損損失	1,648,181	438,883
投資有価証券評価損益 (△は益)	29,999	49,639
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	18,317	△11,805
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,235	1,584
受取利息	△2,061	△4,445
受取配当金	△41,552	△53,936
有価証券利息	△28,548	△11,367
支払利息	3,899	13,969
為替差損益 (△は益)	△170,667	△461,398
持分法による投資損益 (△は益)	△1,450	26,427
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	67,943
固定資産売却損益 (△は益)	△2,039	—
棚卸資産の増減額 (△は増加)	174	△91,224
投資有価証券売却損益 (△は益)	△31,130	△201,210
売上債権の増減額 (△は増加)	972,256	489,828
前渡金の増減額 (△は増加)	△57,042	47,533
前払費用の増減額 (△は増加)	△38,290	△203,180
未収入金の増減額 (△は増加)	△423,825	401,678
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△139,287	△22,943
仮払金の増減額 (△は増加)	△113,691	113,691
長期前払費用の増減額 (△は増加)	25,583	31,089
仕入債務の増減額 (△は減少)	△493,460	△594,497
未払金の増減額 (△は減少)	△198,940	△228,285
前受金の増減額 (△は減少)	242,087	86,812
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	△35,886	△126,081
預り金の増減額 (△は減少)	33,292	28,771
その他	△81,727	1,757
小計	△807,618	△258,257
利息及び配当金の受取額	78,134	68,500
利息の支払額	△3,822	△15,000
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△545,322	17,790
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,278,629	△186,966
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△1,104,445	△155,999
有価証券の売却及び償還による収入	675,510	1,095,000
無形固定資産の取得による支出	△1,448,452	△2,650,064
投資有価証券の売却による収入	612,443	546,775
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△513,552	—
出資金の払込による支出	△98,018	△204,890
その他	△53,036	12,617
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,929,551	△1,356,560
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	—	1,000,000
長期借入れによる収入	—	2,600,000
長期借入金の返済による支出	△741,768	△1,097,588
ストックオプションの行使による収入	94,310	992,309
その他	△397,362	41,331
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,044,820	3,536,052
現金及び現金同等物に係る換算差額	64,197	207,964
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,188,804	2,200,490
現金及び現金同等物の期首残高	8,005,782	3,816,978
現金及び現金同等物の期末残高	3,816,978	6,017,468

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下、「収益認識会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、ユーザーからの課金収入について、従来、ゲーム内の有償通貨をユーザーが消費し、アイテムに交換したときに収益を認識しておりましたが、有償通貨をユーザーが消費して入手したアイテムの性質に応じ、その利用期間を見積り、当該見積り利用期間に応じて収益を認識する方法に変更しております。また、ライセンスを供与する取引の一部について、従来は契約に基づき、請求書を発行した時点で当該請求書の金額にて収益を認識しておりましたが、ライセンスを顧客に供与する際の約束の性質が、ライセンスが供与される時点で知的財産を使用する権利である場合は、一時点で収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当連結会計年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当連結会計年度の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当連結会計年度の売上高は71,172千円減少、営業損失は71,172千円増加、経常損失及び税金等調整前当期純損失はそれぞれ60,401千円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は48,349千円増加しております。

当連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書は、税金等調整前当期純損失は60,401千円増加しております。

当連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、連結株主資本等変動計算書の利益剰余金の期首残高は48,349千円増加しております。

1株当たり情報に与える影響は当該箇所に記載しております。

なお、収益認識会計基準第89-3項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、モバイルオンラインゲームを提供する「ゲーム事業」のみを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

事業セグメントの利益は売上総利益ベースの数値であります。

「会計方針の変更」に記載のとおり、当連結会計年度に係る連結財務諸表から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。

す。

当該変更により、従来の方法に比べて、当連結会計年度の「ゲーム事業」の売上高は71,172千円減少、セグメント利益は71,172千円減少しております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
前連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	連結損益計算書計上額 (注) 2
	ゲーム事業		
売上高			
外部顧客への売上高	23,564,309	330,963	23,895,272
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	23,564,309	330,963	23,895,272
セグメント利益	2,569,647	150,226	2,719,873
その他の項目			
減価償却費	634,317	8,602	642,920

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リサーチ&コンサルティング事業・その他事業を含んでおります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の売上総利益と一致しているため差異調整は行っておりません。

3. セグメント資産、負債の金額は経営資源の配分の決定及び業績を評価するための定期的な検討の対象となっていないため、記載していません。

当連結会計年度(自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	連結損益計算書計上額 (注) 2
	ゲーム事業		
売上高			
ユーザーからの課金収益	14,640,715	—	14,640,715
その他	1,846,389	393,821	2,240,211
顧客との契約から生じる収益	16,487,105	393,821	16,880,927
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	16,487,105	393,821	16,880,927
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	16,487,105	393,821	16,880,927
セグメント利益又は損失(△)	3,109,351	△86,422	3,022,929
その他の項目			
減価償却費	234,198	10,397	244,595

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リサーチ&コンサルティング事業・その他事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の売上総利益と一致しているため差異調整は行っておりません。

3. セグメント資産、負債の金額は経営資源の配分の決定及び業績を評価するための定期的な検討の対象となっ

ていないため、記載していません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)	当連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)
1株当たり純資産額	336.84円	324.42円
1株当たり当期純損失	90.38円	13.97円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載していません。
2. 「会計方針の変更」に記載のとおり、「収益認識に関する会計基準」等を適用しております。この結果、当連結会計年度の1株当たり純資産額は0.30円減少し、1株当たり当期純損失は1.56円増加しております。
3. 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)	当連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)
1株当たり当期純損失		
親会社株主に帰属する当期純損失(千円)	3,468,020	541,922
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
親会社株主に帰属する当期純損失(千円)	3,468,020	541,922
普通株式の期中平均株式数(株)	38,370,270	38,784,005

(重要な後発事象)

該当事項はありません。